

総務産業常任委員会 金澤 幸宣

1 伊那市における「地域おこし協力隊」「集落支援員」制度の取り組みについて

集落支援員、地域おこし協力隊とも女性が多いのに驚いた。箕輪と違いミッションが決まっているので活動が確実に実行でき成果の評価も見える。また、ミッションが多岐に渡っていて行政側の施策が充分に届いていない事項のフォローが行える利点があると感じた。

2 起業したカフェの視察 リヤコーヒーにて

第一印象は、持続可能か疑問に感じた。協力隊員に共通しての印象として本人の趣味の域の延長線にあると思える。カフェ、ゲストハウス、古民家改修が概して多い。空き家の後利用が多いが、何故その箇所が空き家になったかのリサーチが充分に出来ているか疑問。

全体を通じて